

2023さっぽろホワイトイルミネーション 2023ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

会場	会期
大通会場	11月22日(水) ~12月25日(月)
駅前通会場	11月22日(水) ~2024年2月11日(日)
南一条通会場 札幌市北3条広場会場 札幌駅南口駅前広場会場	11月22日(水) ~2024年3月14日(木)



2023さっぽろホワイトイルミネーション

大通会場(1~6丁目)



駅前通会場



南1条通会場



北3条広場会場



札幌駅南口 駅前広場会場



ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo



環境に配慮した取り組み

- ① LEDの使用
- ② バイオディーゼル燃料発電／使用済み食用油回収
- ③ リターナブル食器／ライスレジン食器の使用
- ④ ペレットストーブの設置
- ⑤ カーボンオフセットの実施
- ⑥ ボタニカルライトクリスマスツリー展示
- ⑦ More Stars (※) の設置

(※) 気象・環境条件により変化するイルミネーション



● 「2023 さっぽろホワイトイルミネーション(第 43 回)」 「2023 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo(第 22 回)」について

大通公園をメイン会場に、11 月 22 日(水)から 2024 年 3 月 14 日(木)まで「2023 さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。

さっぽろホワイトイルミネーションは、札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を発信しており、「日本新三大夜景都市」である札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を、多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでいただきたいと思います。

また、大通公園西 2 丁目では 11 月 22 日(水)から 12 月 25 日(月)まで「2023 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催します。国内外から 32 店舗が出店し、ドイツのホットワイン「グリューワイン」やドイツ料理、クリスマス雑貨などを販売するほか、ドイツの雰囲気を感じることでできるさまざまなイベントを実施します。

1 2023 さっぽろホワイトイルミネーションについて

(1) 会場・会期(各会場コンセプトは別紙参照)

会場	会期
大通会場(大通西 1~6 丁目)	2023 年 11 月 22 日(水) ~12 月 25 日(月)【34 日間】
駅前通会場(北 4 条~南 4 条)	2023 年 11 月 22 日(水) ~2024 年 2 月 11 日(日)【82 日間】
南一条通会場(南 1 条通西 1~3 丁目)	2023 年 11 月 22 日(水) ~2024 年 3 月 14 日(木)【114 日間】
札幌市北 3 条広場(アカプラ)会場 (北 2 条西 4 丁目・北 3 条西 4 丁目)	
札幌駅南口駅前広場会場(北 5 条西 3 丁目)	

(2) 点灯時間・使用電球個数

① 点灯時間

ア 大通会場：16：30~22：00 ※12 月 23 日(土)~25 日(月)は 24：00 まで

イ 駅前通会場：16：30~22：00 ※12 月 23 日(土)~25 日(月)は 24：00 まで

ウ 南一条通会場：16：30~22：00 ※12 月 21 日(木)~25 日(月)は 24：00 まで

エ 札幌市北 3 条広場(アカプラ)会場：16：30~22：00

※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更

オ 札幌駅南口駅前広場会場：16：30~24：00

※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更

② 使用 LED 数：約 75 万個

2 2023 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo について

- (1) 開催期間
11月22日（水）～12月25日（月）（34日間）
- (2) 開催時間
11：00～21：00（飲食店のラストオーダー20：45）
- (3) 会場
大通公園西2丁目

(4) 出店舗数

	海外出店者	国内出店者	合計
物品販売店	2店舗	16店舗	18店舗
飲食店	1店舗	13店舗	14店舗
合計	3店舗	29店舗	32店舗

(5) 各種イベント等

① シンボルオブジェ

2018年度から設置している「Gift of Snow」の装飾をブラッシュアップして設置。来場者参加型企画として「ウィッシュオーナメント」を販売し、来場者が願い事を書いて飾り付けることで、世界に一つだけのシンボルオブジェとして会場内を彩る。



② 各種イベント

屋外ステージや屋内パビリオンにおいて、ドイツ文化発信や国際交流、クリスマスの雰囲気醸成するイベントやワークショップを多数実施するほか、毎週日曜日には店舗利用者に抽選でサンタクロースからプレゼントを行う「プレゼントデー」も実施。



③ オリジナルグッズ販売

定番のオリジナルマグカップやマスクingtテープ、コースターなどのオリジナルグッズを製作し、会場内で販売する。



④ 謎解きイベント

クリスマス市会場を含む、イルミネーション大通会場内を周遊し、さっぽろホワイトイルミネーションにおけるSDGsに関する取組を理解いただける体験型の謎解きイベントを実施する。

⑤ 姉妹都市紹介パネルの設置

ヴァイナハツパビリオン内に札幌の姉妹都市であるミュンヘン市の紹介パネルを設置し、来場者へ札幌市の国際交流の取組を紹介する。

(6) 市民参加の取り組み（食器洗浄ボランティア）

公募によるボランティアに、会場で使用するリターナブル食器の回収や洗浄を行っていただく。（ボランティア申込期間：10月31日～12月24日）

3 オープニングセレモニー

- (1) 日時：11月22日（水）16：30～
- (2) 場所：大通公園西3丁目「ウィンター・ブロッサムズ」前
- (3) 内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介等

4 環境に配慮した取り組み

(1) LED の使用

会場内で使用するすべての電球について、白熱電球に比べて消費電力が少ない LED を使用する。

(2) バイオディーゼル燃料発電／使用済み食用油の回収

大通公園に発電機を設置し、大通会場 1 丁目で使用する電力を自家発電で賄うほか、燃料には軽油に代わって、家庭や企業から回収した食用油から作られる「バイオディーゼル燃料」を使用する。また、会期中は大通西 2 丁目ミュンヘン・クリスマス市会場内において店舗や市民から使用済み食用油を回収しリサイクルすることで、環境に優しい地域参加型のエコ・イルミの実現を目指す。

(3) リターナブル食器／ライスレジン食器の使用

ゴミの削減を図るため、ミュンヘン・クリスマス市の飲食物提供には、洗浄し再利用できるリターナブル食器を使用する。また、前回から導入したお米由来の国産バイオマスプラスチックを使用したライスレジン製のリターナブル食器により、従来のメラニン素材の食器からの切り替えを進める。

(4) ペレットストーブの設置

ミュンヘン・クリスマス市会場内パビリオンの暖房には、間伐材を活用した木質ペレットを燃料として使用し、環境負荷が少ない木質ペレットストーブを設置する。

(5) カーボンオフセットの実施

会場で使用される電気やポスター・ガイドブック印刷にかかる CO₂ 排出量に相当するクレジットを購入し、北海道内の CO₂ 削減活動の支援を行う。

(6) ボタニカルライトクリスマスツリーの展示

ミュンヘン・クリスマス市会場パビリオン内に、植物と共存する微生物が生命活動をする際に、土や水の中で放出される電子を利用して発電するボタニカルライトを装飾したクリスマスツリーを展示する。エコ・イルミネーションの活動として、CO₂ の排出削減とともに、ボタニカルライトの今後の更なる実用化に向けて貢献する。

(7) More Stars（気象・環境条件により変化するイルミネーション）の設置

来場者が気象環境の変化について考える機会となるような新規企画として、気温と湿度のデータをリアルタイムで取得し、その数値に応じて光の色や演出が変化するオブジェを大通会場 5 丁目に設置する。また、オブジェの電源にはソーラーパネルによる太陽光発電を活用する。

【問い合わせ先】

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 山上・小川
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE 推進部観光・MICE 推進課 南・研谷
電話：211-2376、ファクス：218-5129

「2023 さっぽろホワイトイルミネーション」の会場コンセプト

1 大通会場（1～6丁目）

① 1丁目会場「羽ばたきの『ウィッシュ・バーズ』」

ゴールドを基調としたオブジェやグランドイルミネーションで、華やかなテレビ塔とのコントラストに加え、札幌市の鳥である「カッコウ」のモチーフを取り入れることで、より札幌らしさを意識した。

【新規】昨年リニューアルしたメインツリーの東側にも、西側と同じ羽をモチーフにしたフォトスポットを追加。



② 2丁目会場

「2023 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」

2018年度から設置している「Gift of Snow」の装飾をブラッシュアップして設置。来場者参加型企画として「ウィッシュオーナメント」を販売し、来場者が願い事を書いて飾り付けることで、世界に一つだけのシンボルオブジェとして会場内を彩る。



③ 3丁目会場「彩りの『ウィンター・ブロッサムズ』」

人気のライラックシンボルオブジェが、札幌の花スズランや北海道の花ハマナスとコラボレーション。イルミネーションはパープルシーンだけでなく、ブルーシーンやレッドシーンなど5色の展開で、動きと変化による様々な表情を見せる新しいシンボルオブジェとする。

【新規】花の周囲のリボンイルミネーションにも、ライラックのオブジェと同様、色の変化をする演出を追加。



④ 4丁目会場「夢見る『スノー・ファンタジア』」

雪の結晶をモチーフにした光のトンネルを設置し、幻想的な雪の回廊を表現する。外から見たときの白と緑を基調とした光の演出を見て、実際に光のトンネルの中を通り抜ける体験をすることで、よりイルミネーションへの「没入感」を感じられる会場とする。

【新規】スノークリスタルオブジェを2基増設。



⑤ 5丁目会場「星降る『コズミック・スクエア』」

星や宇宙をモチーフに、インタラクティブな仕掛けを核とした体験・体感型の広場とする。透明なドームには光る球体が散りばめられ、人の動きに反応してドーム内の光の演出がはじまり、会場内に散りばめられたフレームドームとシャイニングボールが一体感のある会場を演出する。



【新規】透明なドームの演出に合わせ、周囲のシャイニングボールの演出も始まる。湿度や温度により光の色・演出が変化するオブジェ「More Stars」を設置。

⑥ 6丁目会場「煌めきの『エメラルド・フォレスト』」

緑豊かな会場の特徴を冬の季節に再現した光の森をイメージした会場とする。

グリーンを基調にゴールドのイルミネーションを織り交ぜることでより華やかな会場とするほか、人気の「光の迷路」はそのままに、樹木へのライトアップも交えて会場全体をグリーンで演出する。

【新規】公園内の大きな木々の周辺をグランドイルミネーションでライトアップ。



2 駅前通会場

JR 札幌駅前からすすきのまでの中央分離帯の立木に、約 22 万個の LED で装飾し、札幌の冬のメインストリートとする。



3 南一条通会場

南 1 条西 1 丁目～3 丁目間の、南北歩道両脇の 46 本の街路樹（イチョウ）に、約 7 万個の LED で華やかに装飾する。まばゆい光で美しく輝く約 300m の光の道を幻想的に演出する。



4 札幌市北 3 条広場（アカプラ）会場

「アカプライルミネーション」

「Now is the time to Sparkle～今が輝く時だ～」をテーマに、道庁赤れんが庁舎を背景にそびえ立つ古木の銀杏並木への装飾のほか、広場内もライトで照らし、アカプラがライティングされた景観を演出する。



5 札幌駅南口駅前広場会場「サツエキイルミネーション」

イルミネーションで彩られた中に現れる「光の花」。期間中 4 回変わる音と光の演出プログラムが見る人の心をあたためる。

